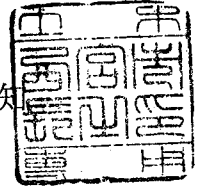


西道建発 第 51号

平成20年10月20日
(2008年)

国土交通省道路局長 様

西宮市長 山田 知



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平素は、本誌道路行政に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件について、
別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

兵庫県西宮市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1. 基本的事項

- ・地方が真に必要としている道路整備が計画的に実施できるよう、地方の意見を踏まえた中期計画を策定すること
- ・地方が必要とする道路整備や維持管理が引き続き実施できるよう、地方の意見を踏まえ、地方税財源を拡充すること
- ・道路施設の老朽化など維持管理の財政負担は高騰の一途であるため、既存ストックの活用や長寿命化について、財政的措置を拡充すること

2. 具体的事項

国・地方の厳しい財政状況を踏まえると、一層の重点化・効率化を図ることが求められており、道路の中期計画策定に当たっては、以下の点に配慮願いたい。

(1) 日常生活における身近の道路のあり方

- ・少子高齢化社会への対応、良好な生活空間の確保をするため、歩道の段差解消などのバリアフリー化を進めるとともに、無電柱化を進めるなど美しいまちづくりを進める。
- ・市街地部における「車中心」の施策から「歩行者・自転車などの生活者重視」の施策へ転換する。特に自転車の走行環境の改善を図るとともに、駅前広場などの交通結節点整備など公共交通機関の利用を促進する事業を進める。
- ・安全・安心のまちづくり、循環型社会を形成するため、既存ストックの活用と改善を進める。特に橋梁長寿命化に対する国庫補助制度の拡充や財政措置の強化、交差点改良など小規模改良事業に対する国庫補助の認証などによる効率的・経済的な事業展開を図る。

(2) 地域社会や産業との関わり合い

- ・地域活力の向上、安全の確保のため、名塩道路などの地域間連絡道路等の幹線道路の着実な整備を進める。

(3) 住民生活の視点に立った制度や評価のあり方

- ・効率的な事業執行のため、地域の実情に応じた道路構造基準の弾力的運用とそれに応じた国庫補助の認証により道路整備を推進する。
- ・歩行者、自転車が多い都市部の交通実態を反映した交通需要推計、事業評価手法の見直しを行う。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

○現状

都市計画道路は、145 路線、総延長 201.4km が計画決定
改良済延長は 152.0km、進捗率 75%（平成 20 年 3 月 31 日現在）

鉄道と道路の平面交差箇所が多い

歩道の未整備な区間や歩道に段差などのある箇所が多い

舗装の劣化や通行車両の増加

市道の橋梁は 637 橋、舗装済み道路が 920km 余り
道路施設には老朽化が進んでいるものが多い

○課題

特に J R 東海道本線以北の南北方向の地域内幹線道路の整備が遅れている

交通渋滞や踏切事故を招くだけでなく、地域が分断され一体的な市街地形成にも支障をきたしている

児童や高齢者、車いす利用者などの安全で円滑な通行に支障となっている

騒音や振動が発生し、沿道の市民生活に影響を及ぼしている

今後、施設の更新に多額の経費が必要となるとともに、更新のための工事が長期化し、市民生活に悪影響を及ぼす恐れがある

今後の道路行政についての意見・提案

兵庫県西宮市

②-2地域の目指すべき将来像

1. まちづくりの基本目標

西宮市は、美しい自然環境、整った教育・文化環境、良好な住環境、市民の活発な地域・文化活動、交通の利便性が相まって、豊かな文教住宅都市としての優れた特性を有しています。このような特性を活かしたまちづくりを進め、阪神間の中核都市として着実な発展を遂げてきました。

今、人々は、物質的な豊かさより心の豊かさを、成長・拡大より生活の質の向上を求めています。環境、景観、文化などが醸し出すまちの雰囲気、都市の品格といったものが、まちづくりの重要な目標となっています。また、文教住宅都市のイメージが、西宮市の都市イメージとして、市民の中に深く定着していますが、西宮市の良さを静的に保全しているだけで、新しい刺激に乏しく、目指すべき方向がわかりにくいという考えもあります。

文教住宅都市を基調としつつ、中核市として一層の魅力あるまちを目指すために、また、地方分権が進展し、各自治体が地域の特性を活かした主体的なまちづくりを進めていくため、西宮市の有する特性を踏まえ、次のとおり基本目標を定めます。

人と人との出会いや温かいつながり、人と自然のふれあいなど多様なふれあいは人々に感動を呼び起こし、感動の心は、また、新たなふれあいの創出につながります。「ふれあい」と「感動」が相まって、市民が輝き、市民生活がより豊かになり、まちの魅力が高まっていきます。さらに、誰もが住んでみたい、住み続けたいまちとして、この西宮を次の世代に引き継いでいく努力をします。

2. 将来のまちのイメージ

「ふれあい 感動 文教住宅都市・西宮」を都市目標とするまちづくりを進め、人と人との出会いやつながり、人と自然のふれあいなど多様なふれあいにあふれ、市民が輝いて暮らす、次のような西宮を実現したいと考えています。

- (1) 市民一人ひとりが輝いて生きるまち
- (2) 子どもたちの笑顔があふれるまち
- (3) みんなが安心して暮らせる安全なまち
- (4) 水と緑ゆたかな美しいまち
- (5) 人々が楽しく交流する元気なまち

3. 都市空間整備の基本的な方向

西宮市は、恵まれた自然環境と交通至便な立地条件を生かして活発な都市活動が営まれ、阪神間の市街地の主要な一画を形成し、住宅を中心に商工業など多様な都市活動が営まれている南部地域と、事業系の土地利用を中心とした臨海地域、そして六甲山系の豊かな自然環境に郊外型住宅地が連たんとする北部地域の3地域に大別されます。

都市空間の整備にあたっては、市街地の形成過程や日常の生活圏、自然環境等を考慮のうえ、都市構造や土地利用の方向を明確に示すとともに、市街地の整備や都市機能の適正な配置、都市交通体系の確立、防災機能の向上、公園緑地の整備、都市景観の育成などを図り、地域の個性や魅力を生かした誰もが快適で暮らしやすいまちづくりを進めます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・道路ネットワークの形成 ・鉄道との立体交差の促進と踏切対策の推進 ・安全で快適な歩行空間の確保 ・豊かな道路環境の創造 ・道路施設の長寿命化	・国道 176 号や山手幹線などの広域幹線道路の整備を促進 ・市役所前線や西福河原線などの地域内幹線道路の整備を推進 ・阪神本線甲子園駅以東並びに阪急今津南線における道路と鉄道の立体交差を促進 ・踏切の改良 ・交通安全施設の整備や人が集まる駅、学校、商店街等の周辺におけるバリアフリー化などの道路整備 ・都市核や都市の骨格を形成する幹線道路の無電柱化の推進 ・道路と公共交通機関との連携や渋滞交差点の解消 ・主要道路の舗装改良 ・道路の適正な維持管理 ・橋梁をはじめとする道路施設の長寿命化	・生活道路への通過交通の流入を抑制するとともに、災害時の代替機能を確保 ・交通渋滞の解消、バス路線における安全性・運行の定時性や災害時の避難路の確保 ・自動車交通の円滑化 ・歩行者などの安全確保 ・高齢者や障害者、自転車利用者等が安心して通行できる空間を確保 ・快適な道路空間の確保 ・地球温暖化対策に配慮し、沿道環境への影響を緩和 ・道路施設の維持更新費用を抑制・平準化	